

市民 厚生

本委員会へ付託された議案は、条例5件、補正予算2件

(一般会計補正予算の予備審査、国民健康保険特別会計補正予算)及び佐渡総合病院移転新築に係る財産の交換についてであり審査の結果、一部意見をつけて原案どおり可決しました。

〔主な議案〕

(1)子どもの医療費助成に関する一部改正条例について、通院医療費助成の対象期間を満6歳から満9歳に拡大するものです。

(2)国民健康保険の一部改正条例について、平成21年10月から平成23年3月までの間出産育児一時金の支給額を4万円引き上げ42万円とす

るものです。

(3)国民健康保険税の一部改正条例は、前年所得に基づく本算定を行い、当該保険税の一人当たり調停額のうち、医療一般分及び後期高齢者支援分を合わせた額について、当委員会の審査を踏まえ、前年度に比べ5057円の減額としたものです。

〔意見〕

① 社会福祉施設管理運営費(1164万5000円)について

当該経費は、いこいの村佐渡において譲受候補者による試行営業にあたり、公募条件に基づいて電気設備を改修するものである。今後、試行営業期間中の修繕については、安全管理上必要最小限の内容とされたい。なお、譲受者の決定にあたっては、公募において「提案事業の内容に満足する試行営業ができなかったときは譲受者としての決定はしません」と規定していることから、試行営業について、費用対効果を踏まえた検討を

② 施設整備事業

(1984万5000円)について

佐渡クリーンセンターの資源化物倉庫について、増大する廃プラスチック受入れの現状に対応するために「下屋」を増設するものである。当該施設を増設する必要性については、当委員会の審査及び現地視察の結果、妥当であると思料するものの、現資源化物倉庫(約6000万円)の建設にかかる見通しの甘さについては、厳しく指摘せざるを得ない。なお、本事業の入札にあたっては予定価格を慎重に精査し、併せて来年度予定されている新資源化物倉庫(計画額約1億6000万円)の建設計画は、その内容を白紙化し、ごみ処理現場の意見をよく聴取した上であらためて計画するよう申し入れる。

③ 新型インフルエンザ

発熱外来運営費

(746万4000円)について

市が設置する発熱外来として佐和田体育館が予定されて

いるが、冬季における当該施設の利用状況を考慮すれば不適

切であると思料するので、再検討するよう申し入れる。



佐渡クリーンセンターの資源化物倉庫

産業 建設

本委員会に付託された議案は、条例の改正が5件、字の変更及び一般会計補正予算の予備審査等であり審査の結果、原案どおり可決しました。

(1) 佐渡市民農園条例の一部改正について

八幡地区お楽しみ農園について、年々利用者が減少してきていることから廃止することになりました。

(2) 佐渡市企業設置奨励条例の一部改正について

地場産業の育成のため、企業設置奨励措置に農業、林業及び漁業を加えるものです。

(3) 字の変更について（浦川地区・市の沢地区）

県道改良工事により新たに生じた土地の字の変更及び住宅地の開発により一区画一筆

とするための字の区域の変更をするものです。

(4) 財産の無償譲渡について

「ふれあい農村婦人の家」を二見地区へ無償譲渡するものです。

(5) 市道路線の認定について

外山ダム進入路建設に伴う県道路線の変更により現在の県道を市道として認定するものです。

(6) 一般会計補正予算（第2号）について

主なものとして漁港整備事業2億5000万円（上浦漁港）観光施設修繕料及び不要になった観光施設（白雲台展望台等）の解体工事などです。



行政視察報告 第1班

平成21年5月18日(月)～20日(水)

(1) 滋賀県近江八幡市

★景観行政推進のための風景づくりについて

近江八幡市は景観法に基づき平成17年に近畿地方で初の景観行政団体となり「魅力ある近江八幡を次世代に引き継ぐために」を理念にした風景づくり条例を制定し、市内に「水郷」「伝統的」「市街地」「湖畔」「田園」「街道」と6つのゾーンを定め、それぞれ景観計画を策定、またその予定で取組みを行っている。

琵琶湖と結ぶ貴重な堀を保存することをきっかけに地域文化や財産を継承する市民運動が起こり、その後のまちづくり運動へと展開された経緯もあり、景観を守るという住民意識も高く様々な取組みが行われている。

景観計画はその目的が市町村によって異なり、観光化や懐古主義が目的のところも多いが、近江八幡市では行政の役割として本事業を重要な文

化政策に位置づけ、公共事業や仕組みづくりとともに、この取組みによって地域住民の良好なコミュニティを再生していくことを目指しているのが明確であった。

(2) 鹿児島県南さつま市・(株)コワダヤ

★畜産振興と食肉センターについて

南さつま市は古くから黒毛和牛の産地で約1万頭が飼養



近江八幡市の水郷風景～八幡堀

され、鹿児島黒牛ブランドとして高い評価を受けている。畜産業を取り巻く環境が厳しい中、市では家畜防疫、畜産環境対策、飼料確保対策、担い手支援等の事業に細かく取り組み畜産関係にとって必要不可欠でかつ利用しやすいプログラムを多く備えている。これらにより黒牛、黒豚ともに「南さつまブランド」として飼養技術の向上や家畜改良等により銘柄としての確立を図っている。

また誘致企業である(株)コワダは市営食肉センターの指定管理者として昭和38年から、畜事業に取り組んでいたが、市営施設が老朽化したため隣接して平成17年に豚専用の食肉センターを新設した。この施設はオランダ製の設備、処理機械を導入した国内最新鋭の工場で、高度な品質、衛生管理の下に高い生産性を兼ね備えている。平成20年の実績では約25万8000頭の畜処理が行われ、県内はもとより県外からも多くの施設利用があった。

平成20年度政務調査費の実績をお知らせします

※佐渡市では、市議会議員の調査研究に必要な経費の一部として、議会の会派や議員に対し政務調査費を交付しています。1人当たり年額96,000円が交付され、すべての経費に領収書等の添付を義務付け、残余の額が生じた場合は返還しています。

会派・議員名 支出項目	新生 クラブ	清明 志政会	自民党	地域政策 研究会	民政市民 クラブ	日本 共産党	社民・平和 市民連合	無所属議 員の計	合 計	比率 (%)
研究研修費	653,230	66,000	0	0	0	0	0	0	719,230	19.9
調査旅費	0	114,990	0	0	0	0	0	0	114,990	3.2
資料作成費	0	30,071	26,420	100,000	133,350	47,179	0	147,199	484,219	13.4
資料購入費	38,315	234,382	0	102,086	0	159,727	0	64,080	598,590	16.5
広報費	112,944	83,872	310,152	94,103	226,252	383,818	130,860	358,665	1,700,666	47.0
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合 計	804,489	529,315	336,572	296,189	359,602	590,724	130,860	569,944	3,617,695	100.0
補助金額	768,000	480,000	288,000	288,000	288,000	192,000	96,000	288,000	2,688,000	
返 還 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
実 績	768,000	480,000	288,000	288,000	288,000	192,000	96,000	288,000	2,688,000	

※交付額については、年度途中の異動があるため、1人当たりの金額と合わない場合があります。

議会一口メモ

政務調査費のより適正な執行を図ることを目的に、支出にあたっての判断基準として以下のとおりの使途基準を示しています。

項 目	内 容
研究研修費	研究会、研修会等を開催するために必要な経費又は他の団体の開催する研究会、研修会等に参加するために要する経費 (例) 会派勉強会、シンポジウム参加
調査旅費	調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費 (例) 行政視察
資料作成費	調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費 (例) 事務機器等のリース料
資料購入費	調査研究活動のために必要な図書や資料等の購入に要する経費 (例) 参考図書購入
広報費	調査研究活動、議会活動及び市の政策について住民に報告し、広報するために要する経費 (例) 議会報告作成経費、郵送料
広聴費	住民からの市政及び会派の政策等に対する要望、意見を収集するための会議等に要する経費 (例) 意見交換会会場費
事務所費	調査研究のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費 (例) 事務所賃借料
その他の経費	上記以外の経費で調査研究活動に必要な経費 (例) 調査事務に係る人件費

◆議会のへんりく

- 4月 9日 議会報編集特別委員会
- 13日 議会報編集特別委員会
- 17日 行財政改革特別委員会
- 24日 行財政改革特別委員会
- 5月 14日 行財政改革特別委員会
- 18～20日 産業建設常任委員会行政視察
(滋賀県近江八幡市、鹿児島
県南さつま市)
- 22日 議員全員協議会
- 27日 行財政改革特別委員会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 第3回臨時会
- 29日 議会運営委員会
- 29日 各派代表者会議
- 29日 総務文教常任委員会
- 29日 市民厚生常任委員会
- 29日 産業建設常任委員会
- 6月 9日 議員全員協議会
- 10日 行財政改革特別委員会
- 12日 議会運営委員会
- 16日～30日 第4回定例会

◆行政視察来市状況

- 4月 13日 千葉県流山市議会(市民環境
大学、環境ポイ捨て条例)
- 16日 徳島県議会(美しく環境にや
さしい島づくりプロジェクト、
世界遺産の取り組み)
- 21日 新潟県議会(トキとの共生、
医師確保対策と救急へき地
医療対策)
- 5月 12日 広島県尾道市議会(空き家
対策、伝統的建造物保存)
- 14日 東京都板橋区議会(人材育成、
佐渡おこしチャレンジ、BDF)
- 20日 北海道斜里郡小清水町議会
(クリーンエネルギー活用事業)
- 28日 愛知県宝飯郡小坂井町議会
(合併後の周辺支所、合併
協定の実現)

9月定例会
のお知らせ

9月定例会は9月3日(木)に開会される予定です。本会議の様子を傍聴やテレビ中継でぜひご覧ください。

議会の傍聴に
おいでください

本会議は一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。傍聴の手続きは簡単で議場の傍聴席入口の受付で住所・氏名などを記載するのみで傍聴できますのでぜひ足をお運びください。議場は市役所佐和田行政サービスセンターとなりの佐渡中央会館内にあります。



表紙紹介

45年ぶりに新潟での開催となる「トキめき新潟国体」。その炬火イベントが6月1日～7月5日にかけて行われ、いよいよ大会の開催を待つばかりとなりました。

編集後記

景気対策で始まったETC(自動料金収受システム)搭載車の高速料金割引は各地でさまざまな現象を投げかけています。瀬戸内海のフェリー会社では乗客の激減、海峡をつなぐ大橋の小さな島の観光所は空前の盛況と主客転倒の有様であります。佐渡はコメは旨い、魚も旨い、酒も旨いと食の三拍子が揃っており、歴史・文化や景観に恵まれているのだから観光客に感動を与えることができれば必ずリーダーとなります。心温まるおもてなしの心掛け、目配り・気配り・心配りを島民それぞれが持ち合わせ観光客に接することが、人にも環境にもやさしい佐渡ヶ島の人情と評価されるものと信じます。新潟県は大観光交流年の真つ盛り、島民あげて観光大使を名乗って頑張りたいものです。